

日本心不全学会チーム医療推進委員会教育セミナー広島市で開催される

平成 26 年 11 月 2 日（日）、今年度第 3 回の「心不全に取り組むチーム医療教育セミナー」（山科章委員長）が広島大学霞キャンパスで開催され、中四国のみならず近畿・九州地方からも、医師、看護師、理学療法士、管理栄養士などの多職種 120 名が参加しました。

セミナーでは、心不全の病態・治療や心不全患者のアセスメントなどの基本を学ぶことから始まり、セルフケア支援や疾病管理の実際が講演されました。午後には広島大学と広島県が 2011 年から取り組んできた「心臓いきいき推進事業」とその成果を中心に、外来看護・テレナーシングや、心臓リハビリテーションの立ち上げ、心不全再入院予防のためのチーム運営上の留意点、そして慢性心不全認定看護師の活動などについて講演者と参加者とで活発な質疑応答が行われ、熱気あふれるセミナーとなりました。

心不全の基本病態を知る

心不全患者の症状アセスメントの実際

疾病管理の実際と問題点

《ランチョンセミナー》心不全治療を理解する

心不全患者のセルフケア支援の実際

広島大学病院心不全センターの役割

チーム医療の中の心臓リハビリテーション

慢性心不全看護認定看護師の展開

木原 康樹（広島大学）

池亀 俊美（聖路加国際病院）

森山 美知子（広島大学）

山科 章（東京医科大学）

松岡 志帆（東京医科歯科大学大学院）

水川 真理子（広島大学病院）

田代 尚範（広島大学病院）

富山 美由紀（JA 尾道総合病院）



広島大学病院心不全センターホームページは：

<http://www.hiroshima-u.ac.jp/hosp/cyuoshinryo/shinhuzen/>